

Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

また星が流れた。
不便さに贅沢を感じるなんて
人間って面白い生き物だなあ。

三重県志摩市、英虞湾のすぐそばにNEMURESSORTはある。
ここにはかつて、

巨大なプールやゴーカーや温泉施設をもつ
大きなテーマパーク型のリゾートがあった。

だが、時代は流れリゾートに対する価値観が変わった。
生まれ変わるのは必然だった。

ここにしかないものは何か。

都会にはないものがリゾートという場所には必要なのだ。

だからこの土地にある最も贅沢なものを取り戻そう。

それが「自然への回帰」だった。

不自然なものを、自然なものへ。

このコンセプトが実にたくさんのお客を連れてくれた。

最初に「陰影と起伏」を地形に取り戻した。

それは生き物たちの循環を生んだ。

そして次に「不便さ」を作った。

人間の目の高さより高い灯を、夜から消そう。

道案内のサインをできるだけ減らした。

迷うのは最初だけで、それも楽しい経験のひとつになった。

夜空に浮かぶ星たちはそれだけでひとつのコンテンツだった。

すべてのお手本は、自然のなかにあった。

私たちが便利と快適の名のもとに捨ててきたものが

実はとても素敵なものだったのだ。

てふてふの丘で深呼吸するだけで、

それがわかる。

私たちが未来をつくるときに

忘れてはいけないものが

ここにはたくさんあった。

いい街には、物語がある。

